



■ 事業報告書 2022年~~(案)~~■

2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)



～人と人とのちがいを学ぶひろば～

人と人とのちがいがあることは、当然のこと。

お互いのちがいを認め合い、ともに生きる地域社会を目指して・・・

【目次(2022 年度事業報告書)】

1 2022 年度を振り返って -----

2 運営に関する事項

(1) 会員

(2) 総会

(3) 他団体の会員として

3 事業に関する事項

(1) 学習支援(情報技術を利用した学習支援・スポーツイベント・進学・就労支援を含む) 事業

ア 地域ケアプラザ等の施設における学習支援事業

イ 訪問型学習支援事業

ウ 学習支援のための地域交流事業

(2) ピアサポート・カウンセリング事業

(3) 情報技術のサポート・支援事業

ア 情報技術支援事業

イ WEB サイトでのまちのつながり事業

I 2022 年度を振り返って

2022年度は、学習支援や情報技術支援だけでなく、地域の学校と協働した作業学習やイベントを実施することができました。今まで以上に、様々な人たちとのつながりから新たな活動が生まれたことに、関係者の皆様に感謝しております。

前年度に比べて、活動の領域が広がっていった分、もっとうまく運営していくためにはどうしたらよいか、活動を知ってもらうためにはどうしたらよいかといった課題が見られてきました。地域の団体等に対して、当法人ができることを見つけ出し、今後も活動していくことが大切であることが重要であることを認識した一年でした。

また、できる限り経費を削減するために、必要ではないものを見つけ出し実行して参りました。必要な資源を自ら生み出していき、その資源を使って地域の子どもたちへ還元していくような仕組みづくりを構築するためには時間がかかると思われますが、実現できるように着々と実行して参ります。

まだまだ当法人は、小さな団体であり、細々とした活動しかできていないですが、長く持続的に活動することを前提に、今、目の前で困っている人たちに寄り添って支援の在り方や幅を見つけ実行・改善に努めて参ります。

理事長 木村裕之

2 運営に関する事項

下記に、運営に関する事項を記載いたします。

2-1 会員

2022年3月31日現在の会員数は、以下の通りです。

正会員（個人） … 11名（学生正会員4名を含む）

正会員（団体） … 0団体

賛助会員 … 0名

また、2023年3月31日現在の会員数は、以下の通りです。

正会員（個人） … 12名（学生正会員2名を含む）

正会員（団体） … 0団体

賛助会員 … 0名

2-2 総会

●通常総会

日時 2022年6月18日（土） 午前10時から午前11時まで

会場 鶴見中央地域ケアプラザ 地域ケアルーム

（横浜市鶴見区鶴見中央1丁目23-26 グレーシアスクエア横浜鶴見）

参加者 10名（うち委任状出席者7名を含む）

2-3 他団体の会員として

下記の団体に会員として参画しました。

- ・横浜市鶴見区社会福祉協議会（第6種）
- ・認定 NPO 法人市民セクターよこはま（団体正会員）

3 事業に関する事項

下記に事業に関する事項を記載いたします。

3-1 学習支援(情報技術を利用した学習支援・スポーツイベント・進学・就労支援を含む)事業

(ア) 地域ケアプラザ等の施設における学習支援事業

地域ケアプラザ等の施設における学習支援は、年間13回実施しました。

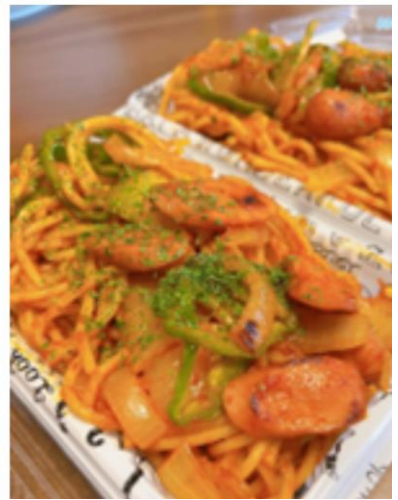
また、日時・場所については、利用者からの要望に合わせた日時で、横浜市鶴見区社会福祉協議会等で実施致しました。従事者人員は2名、受益対象延人数は27名です。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から、施設を利用せずにオンライン会議システムを使った学習支援をメインに実施しました。そのため、その利用者の回数及び受益対象延人数については、次項の「訪問型学習支援事業」で算出しております。

2022年12月頃、直接対面を通して学習支援を希望される利用者がいらっしゃいましたので、できる限り少人数で実施できるように配慮いたしました。また、今年度は学生団体『はぐみー』さんと連携し、利用者の希望に応えることができるように努めて参りました。利用者のなかには、高校受験を控えている子たちがおり、特に面接対策をマンツーマンで実施できる環境設定ができたことに連携していただいた皆様へ感謝の意を表します。

学習支援を通して、生活上で困っていることを傾聴し、随時支援を実施しました。特に、食事に困っている子たちに関しましては、横浜市鶴見区社会福祉協議会を通じて「パチンコ吉兆 横浜鶴見店」からいただきましたお菓子の配布や当法人のスタッフがお弁当を作り渡す支援を行いました。コロナ禍の影響か定かではございませんが、衣食住について我慢していることにマヒをしてしまっている子たちへ支援するためには、こちらからの積極的なアプローチが重要だと感じさせられました。食に困っているご家庭が、地域の子ども食堂等を心理的にも経済的にも利用しづらい状況になっていることがわかりましたので、当法人もこの課題に対して問題解決できるようなアプローチを計画し実行して参りたいと思います。

学習支援を利用している
子どもたちへ
差し入れをしました



食事の支援



鶴見区社会福祉協議会での学習支援前の様子

(イ) 訪問型学習支援事業

訪問型学習支援は、年間 98 回実施しました。日時・場所は、各ご家庭との協議の上で設定しました。直接訪問に限らず、オンライン会議システム（Zoom、Skype）を利用した学習支援も実施しました。主な利用者は、ひとり親家庭の子、障がいのある子、現在不登校ではあるが進学を目指している子たちです。従事者人員は1名、受益対象延人数 98 名です。

今年度は、昨年度よりも訪問型学習支援を利用されるご家庭が増えました。教科等の学習以外にも、学校生活の悩みや進路に対して一緒に考えていく伴走支援を行いました。また、願書の書き方、金融機関での支払いについての相談、進学に向けて必要な書類の作成についてのアドバイス等を行い、学校生活を送る子どもたちへの支援だけでなく、その子どもを支える保護者への支援も含めて実施しました。学習支援という窓口から、そのご家庭で困っていることに関して、当法人でできることの支援を今後も続けていけたらと思います。

(ウ) 学習支援のための地域交流事業

● 【地域イベント参加・委託販売】

イベント出店回数 26回 委託販売箇所 2箇所

今年度も引き続き、地域で当法人を知ってもらう活動及び学習支援事業を成り立たせるための活動を地域のイベントに参加することで行いました。今年度は、『「ちむどんどん」横浜鶴見プロジェクト』のプロジェクトメンバーとなり、琉球ガラスを使ったアクセサリー制作を行いました。



●【学校との協働事業（横浜市立新鶴見小学校との連携）】

横浜市立新鶴見小学校個別支援学級と協働し、児童が作業学習で制作した「キャンディーバッグ」を江ヶ崎マルシェと生麦 de 日曜マルシェで販売しました。児童が地域で販売活動を体験することが当初のねらいでした。自分が制作したものが第三者の人たちへ渡っていくときに、「自分がつくったキャンディーバッグが誰かに買われるのが寂しい」といった声を子どもたちから聞きました。今までは、学校の授業で制作した物は家に持って帰ることが当たり前だった子どもたちにとって、自分が制作したものが誰かの手に渡るという経験は貴重であったと改めて感じました。「だれかのために、自分ができることは何か。」という視点に立った学習活動を協働して実施できたことに、関係者の皆様に感謝の意を表します。来年度も引き続き地域交流を通して、学習支援事業の展開に努めて参ります。





●【青空おんがく教室】

「子どもたちが楽しく、いろんな世代の人たちと交流できたら・・・」という思いから、『青空おんがく教室』を生麦 de 日曜マルシェで開催しました。楽器の使い方をレクチャーし、みんなで曲を奏でて楽しむ時間を共有できたのではないかと思います。今後、頻度を増やし、子どもたちが参加しやすい場づくりをしていきたいと思っています。

青空おんがく教室

楽器の演奏にチャレンジしてみませんか？
地域のバンドメンバーが青空おんがく教室の先生です。




予約不要
手ぶらで参加OK!
参加費無料
年齢制限なし

楽器の種類はまなひろのInstagramをチェックしてね！

2023.2.26(Sun)13:00~15:00
生麦de日曜マルシェ会場内で開催



お問合せ
NPO法人まなひろ
kozuep@yuuei.yokohama
045-900-8250



青空おんがく教室の様子①



Thanks
青空
おんがく教室

青空おんがく教室の様子②

●【ワークショップを通して人との輪づくり】

一部の事業を、「令和4年度鶴見区ふれあい助成金」にて運営しました。

コースターづくりやハーバリウムづくりから、キットパス（日本理化学工業株式会社）を使った手形アートによるワークショップをイベントで実施しました。特に、キットパスは主原料が日本のお米を精米した米ぬかから作り出されるライスワックスからできたクレヨンみたいなものであるため、口に入っても安心して使える道具です。今後、様々な子どもたちに安全面で配慮できるワークショップを実施して参ります。



Autumn ハーバリウム ワークショップ

2022年9月9日（金） 11:00～17:00
開催場所 START BASE Q
鶴見区佃野町24-33

秋カラーのお花でハーバリウム作り楽しんでみませんか

料金 ￥800(税込)
事前申込不要です
問合せ info@yuuei.yokohama

※材料が無くなり次第終了となるため、早く終了する場合がございます

主催 NPO法人まなひろ
このワークショップは鶴見区ふれあい助成金で運営しています

リアルつくの商店街の中ほどです

スーパースクイーズ



シーサーもい



3-2 ピアサポート・カウンセリング事業

ピアサポート・カウンセリングは、不定期で年2回実施しました。来年度は、オンライン会議システムを使い、月1回を目標に実施して参ります。

3-3 情報技術のサポート・支援事業

(ア) 情報技術支援事業

情報教育支援は、年間6回実施しました。ホームページ制作等に関する案件は年間1件ありました。そのうち、反町カフェぽらんにて開催したスマホ講座は年間10回でした。従事者人員は2名、受益対象延人数72名です。



(イ) WEB サイトでのまちのつながり事業

●【まちのイベントを発信事業】

当法人を支援していただいている Google 社の Google 広告を活用し、地域のイベントや情報を随時発信していく活動を実施しました。つるみラボ (<https://tsurumi-lab.life/>) のWEBサイトを充実させていくことも課題ですが、地域の祭りのWEBサイトを制作したり運営したりする際に、必要となる外部サービスを利活用していくように構造化を図っていきたいと思います。

●【パタカラカフェ運営助言】

藤沢市にある「パタカラカフェ」の運営に関する助言を実施しました。Google マイビジネスや広報の見せ方を中心に助言活動を行いました。今後、地域の居場所となるように、今ある課題について連携して取り組んでいきます。



以上